
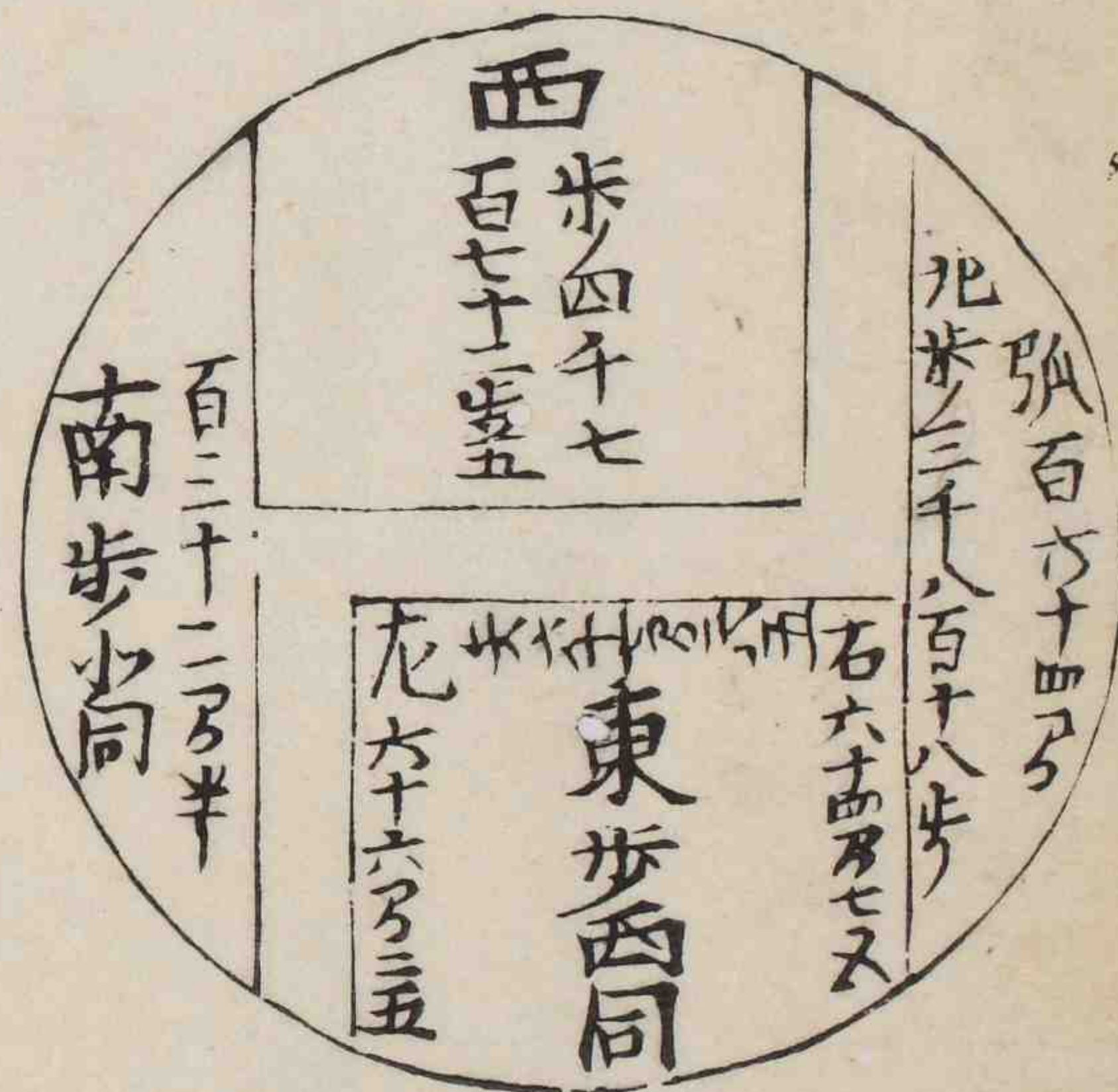


ふのハナハより下け内と二のみふ九百
十二より一は九十九歩ふたつあひを
併二百むさろの内九十高る八せと一は五
ふたふ三とく割ちふりせもふた
叔右ハ百四十二万ふたとゆへに割百廿
一万ふつけ四右のふりせもふたりで
おちた百廿万。六ハ二ふたふた二
百三十九万ふたとゆへに割れぬふ
ふたふ三と道みる加く右法百ちする
一二ふたの通ぢれく此る割圖は
とつけむり候ともあまふてく次
合ふあり



 今述べた方の和室敷の中
 ニお曲の道を幅三万ありけ
 らるゝと人々渡り東西の坪
 敷はわたりぬけは二割は表にぬく高

参目



法目仰面するより一歩して北の方より一歩
 して道標三歩に歩みたるよりけに歩み十
 歩して北の方より一歩の四に歩み二

三人大いぬをよみて右の山の方より
 歩を割るより歩み十歩して三人をよみて
 二歩より二歩み十歩に道標三歩に歩み
 して北の方より一歩の三人大いぬに
 六歩あるをよみて歩み十歩の四に歩み
 十歩あるをよみて北の方より一歩
 して割るより歩み十歩に歩み十歩
 の内なる歩をよみて北の方より一歩

二万巾子百三十九歩八咫の八咫を二二
歩と割九子七百十二歩八咫八咫
を二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を

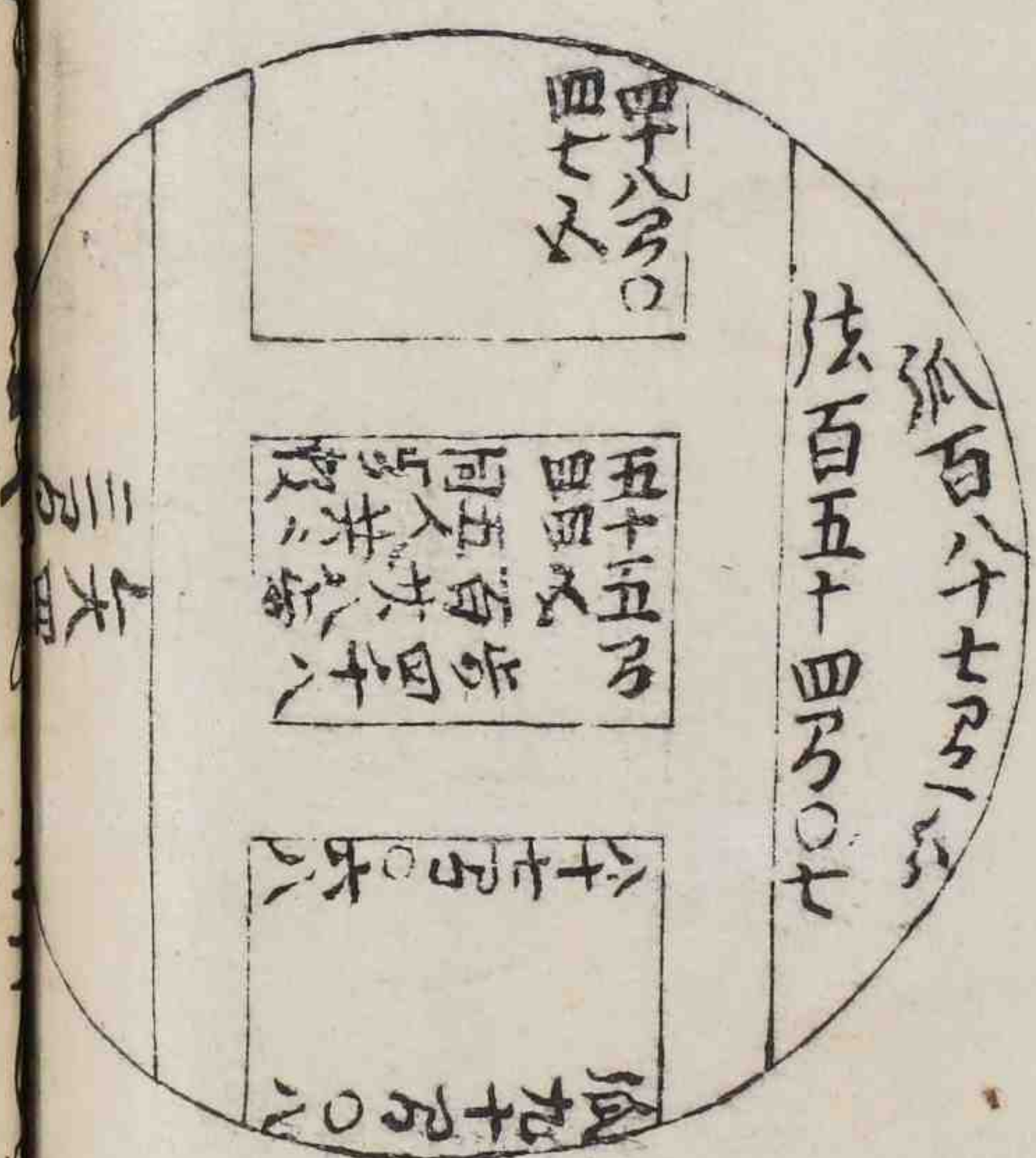
ある相済むみするのめちれ七十九る七一
二四八咫又矢三十九る八咫七咫
を二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を
二万歩と割九十八歩八咫の八咫を

七



るる川跡ゆゑ刻右にたすはるる
 一、俵百八十石の家屋敷の内に幅
 三、るるを縦、少敷横、かぬあけ跡
 る跡、いふおふふ人、か跡、か跡、か跡

答曰



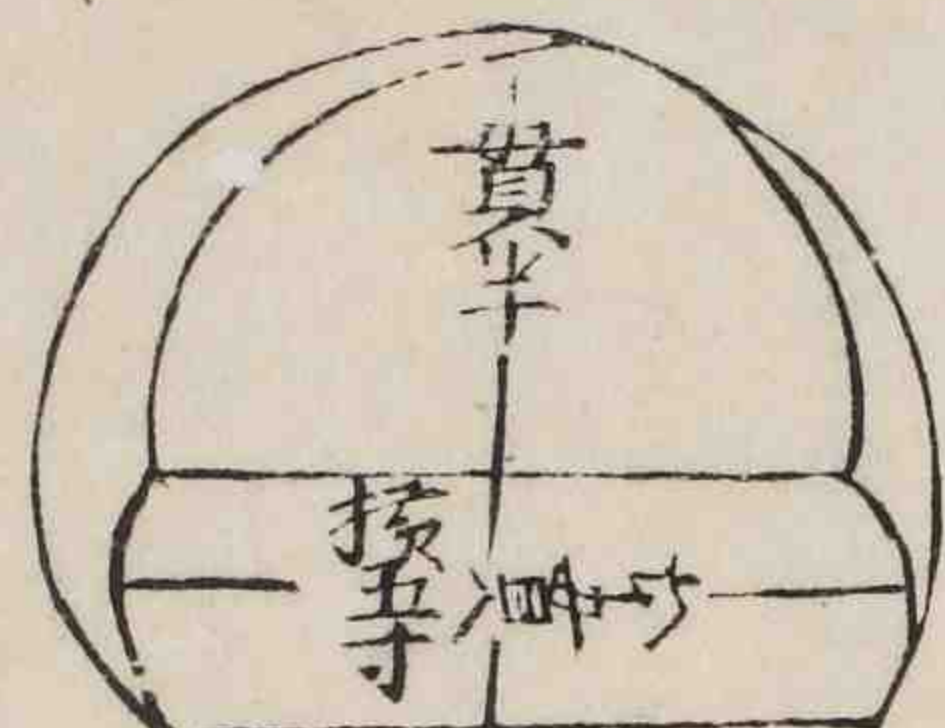
るる川跡ゆゑ刻右にたすはるる
 一、俵百八十石の家屋敷の内に幅
 三、るるを縦、少敷横、かぬあけ跡
 る跡、いふおふふ人、か跡、か跡、か跡

中

三十一

第九十八步表増減
第九十九系解法
第一百方解法

其法開類抄百好之卷

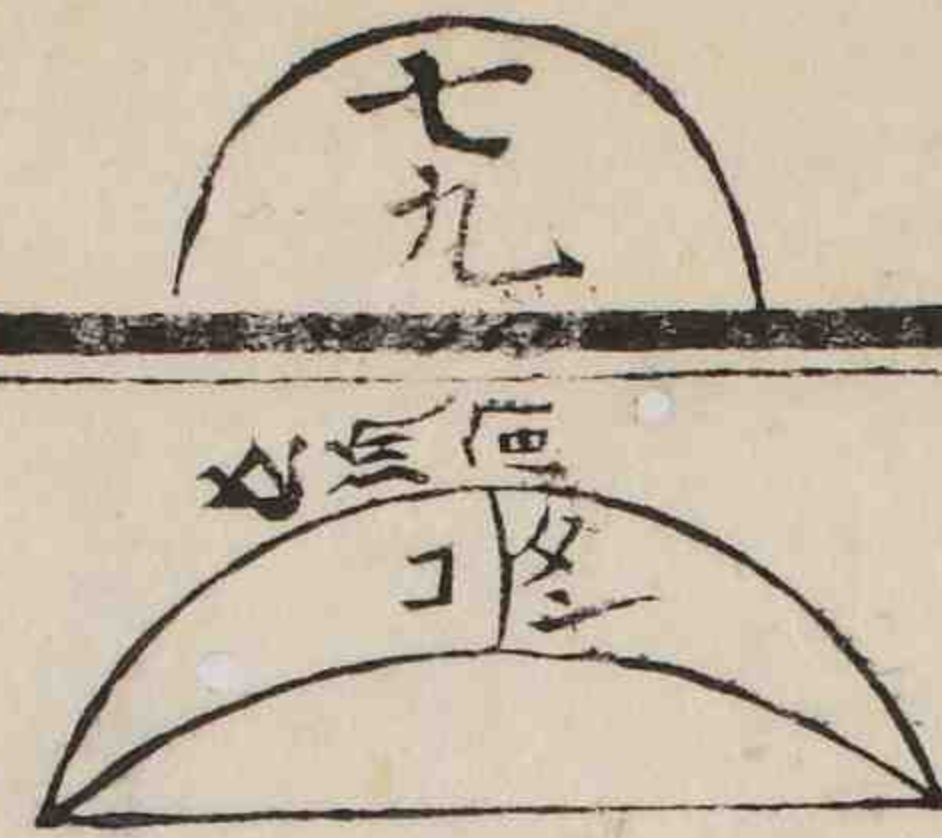


母三尺五寸五釐をまんまうりやうに切
りけ又たちりけぶる所を
一尺五寸横みすありけは敷と同

又右曰寸坪子小百十坪

法曰横みすと一丈五寸を切て其み歩ろを
三尺のり系九百歩を和九百廿五歩を
同平に別三尺のり一丈五寸を切て九百歩を

割二尺九寸五分九二分五厘と一
 八百七十歩六八四六に五毫と九百歩
 の内引張る丈は歩三二三に五毫と五厘五
 割四寸九分八厘毫と五厘二尺の内引張
 をかり割矢一尺二寸五分三厘六毫と五
 厘の二尺九分九厘二とつけて三百七十歩の九
 二毫三厘五の周九尺四寸八分六厘とつけ
 三万六千六百八十歩四七二二五毫と三二
 引張るをかり割けは敷子四百ナ歩也



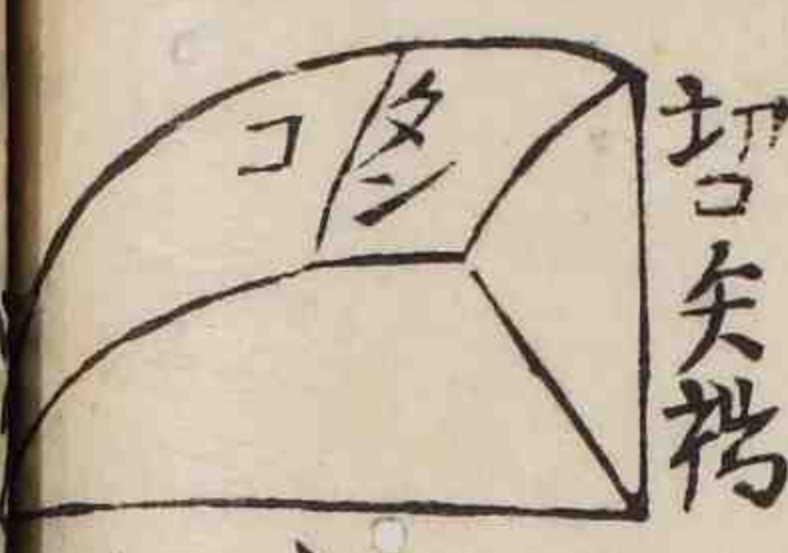
費三尺の玉のけは一尺二寸五分
 五厘五歩七分五厘は敷敷と五厘
 と矢とを官

合目寸歩三十一歩三分六厘

法曰費三尺をかり割て九百歩は一
 尺中五分と一歩をかりて百六十歩二五毫
 を右九百歩の内引張る七百四十三歩七

又なるゆへに割二尺七寸五分七厘二毛五
 もを三尺のゆへに割二尺七寸五分七厘二毛五
 矢一寸三分ありゆへに割二尺七寸五分七厘二毛五
 りて七歩七七四八二二寸五分七厘二毛五
 寸歩九十七歩八分五厘二毛五を定法三二で
 割三十一歩三分五厘二毛五にけりなり

半

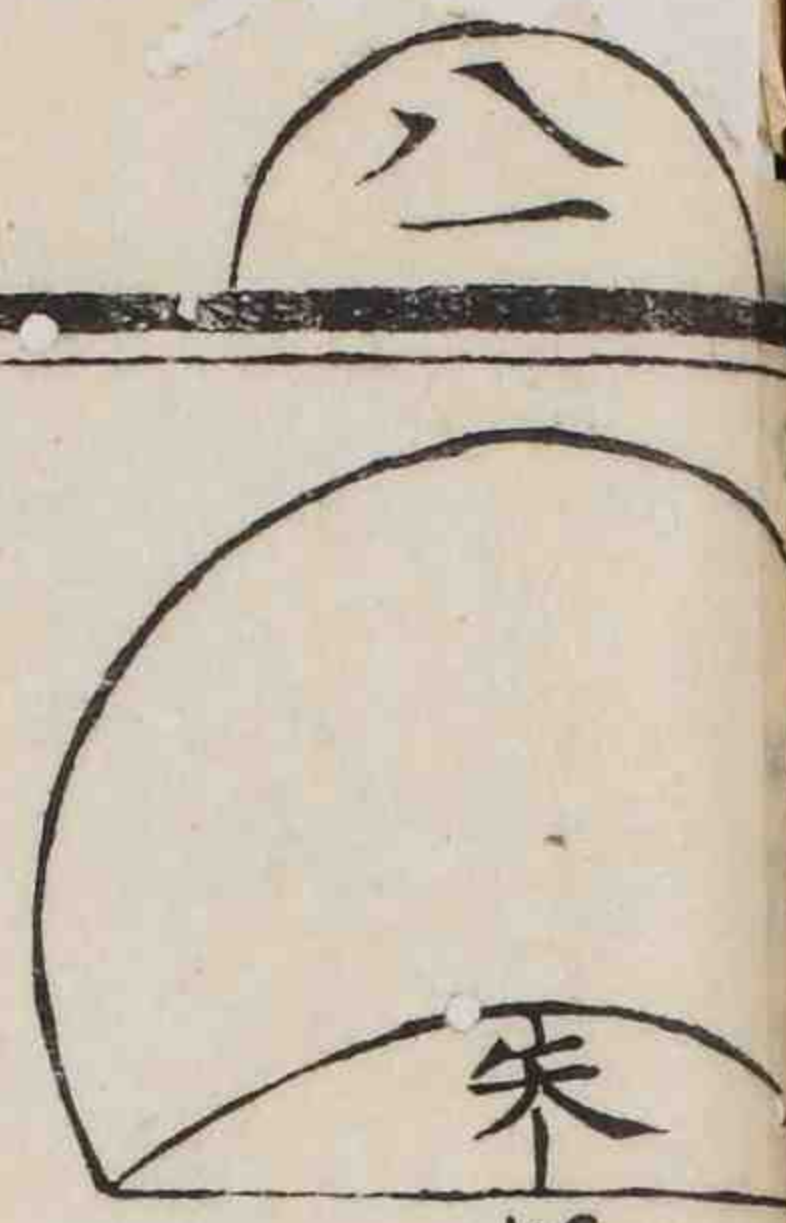


切矢端 貫三尺五寸五分七厘二毛五にけり切矢端
 孤子法端二尺四寸五分七厘二毛五にけり

法曰法端二尺四寸五分七厘二毛五にけり
 十八歩八一又矢端五寸五分七厘二毛五にけり
 歩右二口合式百廿五歩八分五厘二毛五
 又三尺のゆへに割九百歩のゆへに割六
 百七十六歩九分五厘二毛五にけり
 又万六千九百〇四歩七分五厘二毛五にけり
 又三歩八一を以て割七十八歩八分五厘二毛五
 是とゆへに割八十八歩八分五厘二毛五にけり

下四

二天守下加てハス二寸七分九リ。ハ
 もと一ノ条一ノテハ百十九歩四二〇
 六四歩を九百歩の内川加て三
 百四十歩〇五七九に五三六を四
 割一ス九寸五分。ハ四を三スの内川
 加て二ス〇四九一六をかう割り二
 ハを三ニ法一ス四寸五分をうけて七
 歩九六五七八を三ノ線派守をけ
 百九十六



米

を又切れて、も切口の法ハ寸

同矢二寸五分け城敷何程も向

ハ合曰寸坪一万ハ子〇十一坪ハハ六

法曰法ハ寸と一ノ条一ノテハ百十九歩四二〇
 二寸五分を割三スハ寸ハを三と四ノ割
 ハ寸五分ハ二寸加て一スハを三と四ノ割
 一ノ条一ノテハ百十九歩四二〇ハの
 百歩を川加てハハ百歩とハハハ割

三ノハサセム三ノリと云ふ人の内川にあり
 手小の寺と云ふ別六ノリミモ云々
 矢ハサと信じてはすを右の二ノ人の内
 川にあり六ノリと云ふ一ノリ六ノリと云ふ
 を右ノ六ノリ歩の内川にありノミ百六十
 歩を云々別三ノリ九ノリミハノリと云ふ
 四ノ人の内川にありハノリと云ふ別二
 ノリと云ふ右ノ六ノリミハノリにありて


三ノハサセム三ノリと云ふ人の内川にあり
 手小の寺と云ふ別六ノリミモ云々
 矢ハサと信じてはすを右の二ノ人の内
 川にあり六ノリと云ふ一ノリ六ノリと云ふ
 を右ノ六ノリ歩の内川にありノミ百六十
 歩を云々別三ノリ九ノリミハノリと云ふ
 四ノ人の内川にありハノリと云ふ別二
 ノリと云ふ右ノ六ノリミハノリにありて

寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘

寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘
 寸四尺六寸五厘と云く右の寸四尺六寸五厘

[illegible]

右 近 老



The diagram shows a fish-shaped vessel, likely a traditional Chinese fish-shaped boat or a specific type of container. It is divided into two main sections by a vertical line. The left section is labeled '老' (old) and the right section is labeled '近' (near). The vessel is shown in a perspective view, with a cross-section revealing internal components. The cross-section shows a central vertical line, possibly a support or a divider, and a small circular opening at the bottom. The vessel is depicted with simple black outlines on a light background.

今也費二尺又寸五五乃額又た
ちふの額中の中額一尺寸
五分又寸八寸又寸九寸又
寸一の法と強を為

答曰

右 弧七寸六分
弦九寸六分

左 弧七寸六分
弦五寸

法曰。派一尺。寸二分。をり。糸一て。二百六
十二歩。四四。を。小。ウニ。割。百三十一歩。二ハ

[illegible]

内一尺五寸を川筋をわく割守三三
 三三〇三右れみす三三を加て右の三
 うけれ後額尺九寸六寸と知るも守
 三三よ一尺五寸加て後九寸川筋で一尺〇
 三三をけ内みす三三を川筋守割尺
 の三三のけ乃額尺みすと知る也

四



今る歩七百四十八歩九四〇六五

五三三と也御三十八るの卒

月日新法よりて後をりて

法目方月日のり系月三二六二を川筋
 八三八をいゝ物歩敷七百四十八歩九四〇
 六二をへひて六百廿七歩六寸二二四三
 七二を根三十八るを自前一子に百四
 十四歩を歩け四右れ歩敷を川筋て八
 百十六歩三八七七六二五三三と知る
 ゐ割尺八るみ七二五を三十八る
 の四川筋で九るに二七五と知る也

下四

十一

電気通信大学附属図書館

員大泉寶

答曰：經費一尺五寸七分〇八毫。

法曰長一尺八寸へ玉法ふ一をうけて九寸ふ八りと玉板高一尺とる玉の長一尺八寸は玉の長と

是とちて九寸五分ハリへ加て一尺一寸四分二
 毫を滿一尺へつけて百十四歩二毫を
 是とちて實を二割割は滿一尺也
 又も子小百ハナ増も又一尺二四分二毫
 一尺とけち目毎百十四歩二へ加て
 百廿八歩四分を極次の滿みすと
 是と倍して一尺初高一尺へ加て小尺
 在初高一尺とつけて二百歩五分八